

会長方針

2003-04 年度会長 篠崎勝信

ジョナサンB・マジリアベR I会長のテーマは「手を貸そう」です。2700 地区 佃亮二ガバナーは「ロータリーの本質に目を向けよう」の方針を掲げられました。クラブに、地域に、天職に、手を貸し且つロータリーの本質を再認識することを課題としています。

福岡北ロータリークラブの基本理念は「樹を育てるより 人を育てよう」です。これに基づき本年度の活動目標を立てました。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

1. 会員増強

これは、RC永遠の課題でありその年度ガバナーの責務であるといわれています。RIでは、2005年のロータリー100周年までに、世界150万人の会員確保を掲げています。

‘01～‘02年度で日本のロータリー会員は一年間で実にマイナス2,951名です。その中であって2700地区のみプラス46名の純増日本一でガバナーの面目躍如でした。

‘02～‘03年度増強委員会が果たされた10名の純増は、成せば成ることの証明でした。本年度も職業分類の未充填項目を洗い直し、会員全員が各分野の知己に呼びかけを行い本年度の目標が達成できますよう、皆様のご協力をお願いします。

2. 親睦の輪を広げよう

ロータリアンは、その職業のリーダーオブマンであります。例会に出席し、会話を交わしましょう。そうすることでその人の特徴が分かり、友好のつながりができます。会員同士の友好は親睦の輪を広げ、新たな活動の芽を創り出します。

本年度テーマ「手を貸そう」は、クラブ活性化に向けた提案ですが、それは親睦が基本にあります。各テーブル会がその変更ごとに1回開催されますが、本年度も1回以上の開催を期待します。

前期で、趣味の会がいろいろ創られました。本年度もこれを継承し、充実・拡大を図るためにも大勢の方に参加して頂きたいと念願しています。

3. 20周年記念事業の継続

- ① 読書コンクールを実施して、日本人の優しさ、献身奉仕などの意識を少年の心に広げる。

② 障害者が自ら社会の一員である喜びを、仕事を通して実感できるための支援を、20周年記念の継続事業とします。

青少年・社会奉仕委員会を中心に活動しますが、福岡北ロータリークラブとしての取り組みです。会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

4. I・Mのホストを成功しよう

当クラブ岩崎明弘元会長が、ガバナー補佐の任務を受諾されました。2700 地区第5グループ I・Mホストの任を全うするために、準備から実施まで会員各位が一体となって成功しようではありませんか。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

福岡北ロータリークラブは、創立20周年を終え、名実共に成人したクラブであります。私は福岡北ロータリークラブの雰囲気が好きです。自由で活発であり、いつも前向きに活動しているその雰囲気です。私自身、創立の精神をもう一度確認し、先輩が築き上げたこの雰囲気を継承してまいりたいと念願しています。これからの一年間頑張りますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。